

第103回運営委員会概要 6月15日(水) 18:30~21:00

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 研修室
 - ◆出席委員：新野・佐藤・石坂・高橋(武)・竹内・徳永・前田運営委員・・・7名
 - ◆オブザーバー：保安院/竹本所長・岡野副所長・熊谷検査官 エネ庁/七部所長
東電/長野副所長・西田技術担当・宮武
 - ◆事務局：広報センター/井口業務執行理事 石黒主事
-

視点49号(第95回定例会分)について

〈議長〉品田村長の挨拶について内容を再確認してほしい。
〈事務局〉発言内容について議事録の再確認を行いたい。

- ・原稿を委員で確認。
- ・事務局案を更に校正して校了。
- ・新しいレイアウト、色味について委員で協議、確認。

6/18 発電所視察について

- ・スケジュールについて説明

〈議長〉共同通信社から地域の会についての取材申し込みがあった。視察を兼ねた委員の勉強会にも同行したいと申し出があったが、どのように対応したらよいか。

〈委員〉受け入れてしまうと今後マスコミから依頼があった場合、断る理由はなくなると思う。

〈委員〉共同通信社だけ特別というわけにはいかない。今後マスコミに対して同列にお知らせしなければいけない。

〈議長〉前回の定例会の中でも勉強会についてのお知らせはしているのでメディアもわかっているはず。

たまたま取材があり、その中で勉強会があることがわかって申し込みがあった。参加の主旨まではわからないが、受け入れてもし何か問題が起きればその後はメディアを断ることはあるかもしれない。

〈委員〉基本的に取材は受ける、すべてオープンにするという姿勢で今まできた。その中で申し出があったということなのでいいのではないか。

(委員了解)

今後の会について(年間計画)

〈議長〉今年は視察研修を行いたいという意見が当初からあったがどうか。

〈委員〉今の状況からすれば行き先は福島になると思う。

(委員賛成)

〈委員〉7、8、9月の内容については柏崎刈羽発電所の号機に関して説明を受けたり改善した部分について議論していくのがよいのではないか。

〈議長〉9月、10月に視察を行うためには今のうちに情報収集を行うべき。

〈委員〉新委員さんと勉強会を兼ねた発電所の視察を行うので、7月はそれについて意見をフィードバックしていくのはどうか。

〈議長〉緊急安全対策とか放射線など具体的なお願いや提言のような議論もある。
また、EPZの問題やモニタリングポストの設置の範囲などの内容についてという

のもある。

〈保安院〉防災計画については原子力安全委員会から発するものであり、まだ時間がかかると思われる。

〈議長〉7月の定例会は、発電所の視察を終え、住民の視点、防災の視点から意見、要望を話し合っていくというのはどうか。その中から重要な内容について深く掘り下げる必要があれば8月にも継続していくことはどうか。

(委員賛成)

〈議長〉9、10月は視察も考え、情報収集を行い、実施の可否も含めまた相談していきたい。

(委員賛成)

今後の勉強会の内容について

- ・防災の観点から行政の方の話しを聞いてみたい。
- ・放射線の話をもう一度聞いてみたい。

【決定事項】

(7月定例会の内容について)

- ・東京電力は「前回定例会以降の動き」の中で、福島状況や収束への道筋に関しての内容を盛り込む。
- ・発電所の視察を受けて、防災の視点から委員の意見交換を行う。

〈7月6日定例会・タイムスケジュール(案)〉

19:00～19:50	前回からの動き(東京電力、保安院、行政)
19:50～20:00	質疑応答
20:00～21:00	委員意見交換(防災の視点からのディスカッション)
21:00～21:15	その他

委員質問・意見について

- ・次回定例会で発表してもらいたい。住民には理解してもらいたいし、設置する行政側にはわかりやすい表記や説明を喚起するきっかけとしたい。

次回運営委員会日程について

- ・7月20日(水) 18:30～ 柏崎原子力広報センター研修室にて